

千歳ロータリークラブ概要

- 設立 1968年5月2日
- 現在の会員数 74名(2021年4月8日現在)
- 例会場 ANAクラウンプラザホテル千歳
- · 例会日 第2·3·4木曜日 12:30開始
- ・現在の会長 伊藤一三 会長(第53代)
- 今年度会長方針「ロータリーを楽しもう!」



千歳ロータリークラブ

第2510地区 第7グループ



委員会概要と代表的な事業

クラブ管理運営委員会

クラブ奉仕委員会

合計8委員会等

奉仕プロジェクト委員会

職業奉仕委員会

環境保全委員会

こども食堂支援事業

クリスマス関連2事業 、ロータリーサンタ事業・児童施

設への遊具寄贈)

社会奉仕委員会

青少年奉仕 ローターアクト委員会

分収造林事業

国際奉仕委員会

ロータリー財団委員会

飛んでけ!車いす支援事業

奉仕事業紹介①こども食堂支援事業

事業 市内こども食堂4ヶ所への寄付

- ■経済格差の拡大やコロナ禍の影響による相対的貧困の増加を 受けて全国的に広がりをみせている「こども食堂」への支援を 今年度より開始
- □□-タリーの菜園(放光寺)で収穫した野菜と農家から仕入れた野菜を詰合せにして、会員の皆様にお配りし寄付を募り、こども食堂代表者に寄贈いたしました。(2020年11月)
- ■2021年4月に追加のチャリティーとして4施設へ寄付を実施







奉仕事業紹介② クリスマス関連2事業

【1】ロータリーサンタ事業

(千歳RC・千歳セントラルRC合同奉仕事業)

- ・クリスマスシーズンに合わせて市内各保育施設サンタに扮してプレゼント
- ・子供たちの歓声・笑顔に触れる事が出来るので、参加会員も心が満たされる。
- ・今年度はコロナ禍で事業中止(次年度再開に期待)

【2】児童施設への遊具寄贈

- ・千歳ロータリー50周年の2017年度から実施している事業
- ・2020年12月は北斗 ほくおう児童館にフランス製木製ブロック等を寄贈





奉仕事業紹介③分収造林事業 (ロータリーの森林)

事業 国立公園内でのアカエゾ松の植林・管理 (当時約8000本植林)

- ■国土緑化と環境保全を目的として事業開始
- ■「環境を破壊するのは簡単だが 維持保全するためには息の長い活動が必要 自然を守り育もう」(初代組合長 丹治秀一氏)
- ■1992年5月 支笏洞爺国立公園内にアカエゾ松を植林
- ■面積は2.83ha(サッカー場の面積の6倍程度)
- ■貴重価値が高いとされるアカエゾ松を80年掛けて収穫する予定
- ■アカエゾ松は楽器の表面素材として活用される等ニーズの高い木材
- ■下草刈りやつる切り・間伐を行って大切に森林を育てています







現在の様子



奉仕事業紹介④ 飛んでけ! 車いす支援事業

事業 日本で使われなくなった車いすを集め、修理をし、海外旅行をする旅行者の手荷物として、発展途上国の病院や施設に、直接送り届けるもの

- ■NPO法人「飛んでけ!車いす」の会との連携・支援
- ■ロータリアン本人が車いすを手荷物として運搬した上で受取国の病院や施設に、 直接送り届ける活動
- ■2017-2018年度 タイ(バンコク) 9台を障害を持つ子供たちへ
- ■2018-2019年度 タイ(バンコク) 9台を障害を持つ子供たちへ
- ■2019-2020年度 ベトナム(ホーチミン) 8台を障害を持つ40代~80代へ





第3次支援事業 ベトナムでの贈呈の様子(2020年2月)



友好クラブ・姉妹クラブのご紹介

姉妹クラブ		友好クラブ
カハラ・サンライズ ロータリークラブ (Rotary Club of Kahala Sunrise)	クラブ名	神戸南ロータリークラブ
第5000地区	RI地区	第2680地区
2019年2月7日	締結日	2007年6月11日
・【今野会長】年度に姉妹クラブ 調印 ・国際ロータリー大会での再会を 願っていたがコロナで大会中止 ・ビデオレターでの交流継続中	備考	・千歳一神戸間の航空路線開設を期に友好クラブ締結・一年交替で両クラブが相手クラブを訪問して交流を深めている・ゴルフコンペ団体戦では千歳連敗中・次年度は神戸RCが来千

カハラ・サンライズRCからのビデオレター (姉妹クラブ締結2周年記念 2021年2月)



ご清聴ありがとうございました

千歳ロータリークラブ 親睦活動委員会